

## 山形県立中央病院で診療を受けられた皆様へ

当院では、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用、または、提供されることを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問合せください。

|                 |  |
|-----------------|--|
| 研究課題名           | 遠位悪性胆管狭窄に対するバレット型金属ステントの使用成績   |
| 該当者             | 2021/1/1～2023/12/31にかけて当院で当該ステント留置の治療を受けられた方   |
| 当院の研究責任者        | 消化器内科 赤松学  |
| 研究代表者           | 消化器内科 赤松学  |
| 本研究の目的          | 胆管の悪性狭窄に対して内視鏡を用いた金属ステントの留置が有効ですが、ステントの種類にもさまざまなものがあり、有効性についての議論が続いております。逆流防止を企図したバレット型金属ステントについて今回検討するものです。 |
| 実施予定期間          | 2024年1月1日～2024年12月31日  |
| 研究の方法           | これまでに当院で胆管に上記メタルステントを留置する治療を受けられた方の電子カルテに記載のある診療情報をもとに検討を行います  |
| 研究に用いる試料・情報の種類  | 電子カルテから得られる臨床情報  |
| 外部への試料・情報の提供・公表 | 調査研究成果を第172回 消化器内視鏡学会東北支部例会で公表する予定です。  |
| 個人情報の取扱い        | 利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除します。   |
| 利益相反            | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業はありません。   |
| お問合せ先           | 消化器内科 赤松学<br>023-685-2626  |